静岡県近代史研究会

会報

8月
2026年10日
月刊第575号

学術会議任命拒否文書開示訴訟裁判を傍聴して

小池善之

2020年10月、内閣総理大臣菅義偉は、日本学術会議が会員に推薦した学者105名のうち6名の任命を、理由も明らかにせず拒否した。政府からの「独立」が法に明記されている学術会議の歴史上、初めてのことであった。

菅内閣のこの蛮行に対して、学術団体はじめ多くの団体により抗議声明が発せられた。本会も静岡県近代史研究会幹事会声明「菅義偉首相による日本学術会議新会員任命拒否の撤回を求める」を発している（本会会報507号、2020年12月号）。

1162名の法律家と任命拒否された6名は、政府に対し、任命拒否の理由がわかる文書の情報公開請求をしたが、政府は文書の「不存在」を理由に「不開示」決定をした。そこで、違法な不開示決定の取消と行政文書開示を求め、国を被告とする訴訟を起こし、現在それが東京地裁で争われている。

6名のうちの一人、岡田正則さん（行政法学者）は、わたしが大学時代に属していた裁判問題研究会のOBで、彼から裁判傍聴に参加することを促され、6月16日東京地裁に赴いたのである（第11回口頭弁論）。

法廷では、原告側から複数の準備書面が提出され法廷で読まれた。一つは「更新弁論」で、裁判官全員の交替があったことから、これまでの原告側の主張・立証の到達点、重要な論点は何であるかを示したものである。また「文書の不存在等に対して存在が認められた判例及び事例」を提示することも行われた。政府が「ない」と主張していた文書が、実際には存在していた事例を具体的に指摘するものであった。それに対し国側は、いつものとおり不誠実な対応で臨み、一言も発することはなかった。

終了後、弁護団が記者会見を行い、弁護士以外、岡田さんと日本近現代史の加藤陽子さんが参加した。弁護団長の米倉洋子さんが裁判官全員の交替は前代未聞であることを指摘し、また情報公開の権威である弁護士の三宅弘さんが論点の説明を行った。

この学術会議会員の任命拒否事件は、本会の声明に「政治権力が、学問的所説のみを理由として、あるいは自分たちの好き嫌いで学者を抑圧・排除すれば、それは明白な「学問の自由」の侵害である。「学問の自由」の侵害を許せば、学問は時の政治権力に奉仕する手段になってしまう。学問は人類共有の財産であり、政治権力は学問を豊かに発展させるためにこそ行使されなければならない」とあるように、まずもって「学問の自由」に関わる重大な問題であると同時に、軍事立国を志向する日本国家が、政官財だけでなく「学」をも巻き込んでいくという姿勢を示したものといえる。

これは、「サミュエル・ピープスの日記」第10巻1669年の解説（岡照雄）の冒頭に置かれている一文である。

私は高校生の頃、歴史の授業は年号や出来事や人物名を覚えるだけのつまらないものだと思っていた。本会に参加してから10年くらい経つ。月例会の発表をきくのは面白いが、なぜそのことをそのように（偏見をもって言うなら、なぜそんなことをわざわざそんなことまでして）調べようと思ったのかというその動機・衝動が今一つ理解できない。

上記の小林の一文は、その「理解できない」に1つのアドバイスを与えているように感じた。瑣事？瑣事というものが持っている力？日々の暮らしは瑣事がからまった糸くずのようなものだが。歴史というものの本当の魅力？そんなものがあるのかな。でも、その魅力に取りつかれた人たちを、私はここ10年見てきている。

「サミュエル・ピープスの日記」は、静岡県立中央図書館には第10巻だけしか所蔵されていないが静岡市立清水中央図書館には第1巻から第10巻まですべて所蔵されている。第1巻から第8巻までは臼田昭の訳、第9巻は岡照雄の訳、第10巻が海保眞夫訳となっている。第10巻1669年の日記はピープスの目の病状悪化のため5月31日で終わっており、岡の解説が第10巻の後半半分を占めている。瑣事ではあるが、付記する。

例会のお知らせ

＜9月例会＞

日時：9月19日（土）14:00～17:00
場所：Web会議システムZOOM/鎌倉文庫
申込方法：9月会報に掲載します。
内　容：「史料の“その後”」をどうするか？
　　―冤罪事件「丸正事件」史料群保存活動（2019-2026）の事例から
報告者：船津かおり氏（会員）

＜10月総会・記念講演会＞

日時：10月12日（月・スポーツの日）
　　13:20～14：00総会
　　14:30～17:00記念講演
場所：Web会議システムZOOM/鎌倉文庫
講演講師：小林丈広氏
演題：「地域史研究との向き合い方」（仮）
詳細は次号でお知らせします。

＜会報に原稿をお寄せください＞

会報原稿を募集しています。下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。

メールアドレス：cqh00053*nifty.ne.jp
（*は@に変えてください。
会報編集担当　川上）

静岡県近代史研究会会報 第575号（月刊）
2026年8月10日
非売品　（非会員は印刷実費100円）
連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室
電話：０５４－２６４－５３８６（直通）
年会費：4,500円（メール会員は3,500円）
ゆうちょ銀行払込口座：00850－6－54573
ホームページ：
https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/